

平成 21 年度

掛之上遺跡83・85・86

— 写真図版編 —

2010

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所都市建設部区画整理課

平成 21 年度

掛之上遺跡83・85・86

－ 写真図版編 －

2010

静岡県袋井市教育委員会
袋井市役所都市建設部区画整理課

例 言

1. 本書は、平成21年度に袋井市教育委員会と袋井市役所都市建設部区画整理課が実施した、掛之上^{かけのうえ}遺跡の第83・85・86次発掘調査報告書写真図版編（まちづくり交付金分報告書）である。ただし、区画道路の調査区と一体化している第83次発掘調査区については区画道路の調査区を含めて報告した。
2. 本発掘調査は袋井市教育委員会松井一明を発掘調査の担当者として実施した。
3. 本調査に係る事務については、袋井市役所都市建設部区画整理課公共施行係が行った。特に、公共施行係の藤原資郎、杉山資治、村田理美、大澤勇人、奥野山誠、鈴木重光の各氏には、現場と事務に関して円滑な調整をして頂いた。ここに記して感謝いたします。
4. 本書の編集は松井が行った。
5. 本書に使用した現場写真のうち、空中全景写真については株式会社フジヤマが撮影し作成したものを、その他遺構個別写真については松井が撮影したものを使用した。
6. 本調査で得た資料については、すべて袋井市教育委員会が保管している。

写真図版目次

巻頭カラー図版1 (1) 第83次発掘調査区空中写真全景 (2) 第85次発掘調査区空中写真全景

巻頭カラー図版2 (1) 第85次-1発掘調査区空中写真全景

(2) 第85次-2発掘調査区空中写真全景

図版1 (1) 第83次発掘調査区空中写真全景 (2) 第83次発掘調査区空中写真全景

図版2 (1) 第83次発掘調査区空中写真全景 (2) 第83次発掘調査区空中写真全景

図版3 (1) 第83次発掘調査区全景 (2) 第83次発掘調査区全景

図版4 (1) S D21・22 (2) S D21

図版5 (1) S D21 (2) 北側トレンチ

図版6 (1) S K41 (2) 南壁土層

図版7 (1) 重機による表土掘削作業 (2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景

図版8 (1) 第85次発掘調査区空中写真遠景 (2) 第85次発掘調査区空中写真全景

図版9 (1) 第85次-1発掘調査区空中写真全景 (2) 第85次-1発掘調査区空中写真全景

図版10 (1) 第85次-1発掘調査区全景 (2) 第85次-1発掘調査区全景

図版11 (1) S H42 (2) S H43

図版12 (1) S H43 (2) S Z 5

図版13 (1) S Z 5 (2) S Z 5南西コーナー

図版14 (1) S Z 5南西コーナー壺棺1 (2) S Z 5南西コーナー壺棺1

図版15 (1) S Z 5北溝土層 (2) 壺棺2

図版16 (1) S Z 6 (2) S Z 7

図版17 (1) S Z 7西溝内土器出土状況 (2) S Z 7西溝内土器出土状況

図版18 (1) S Z 7西溝土層 (2) S K55

図版19 (1) S D69~71、谷 (2) S D68

図版20 (1) 1区西壁土層 (2) 重機による表土掘削作業

図版21 (1) 人力による作業風景 (2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景

図版22 (1) 第85次-2発掘調査区空中写真全景 (2) 第85次-2発掘調査区空中写真全景

図版23 (1) 第85次-2発掘調査区空中写真全景 (2) 第85次-2発掘調査区空中写真全景

図版24 (1) 第85次-2発掘調査区全景 (2) 第85次-2発掘調査区全景

図版25 (1) S B21 (2) S B21炉跡

図版26 (1) S K58・59 (2) S D48・49

図版27 (1) S D54・73 (2) S D54土器出土状況

図版28 (1) S D73瓦出土状況 (2) S D72

図版29 (1) 2区南壁土層 (2) 人力による作業風景

図版30 (1) 第86次-1発掘調査区全景 (2) S D 3

図版31 (1) S D 3土器出土状況 (2) 柱穴群

図版32 (1) 1区南壁土層 (2) 第86次-2発掘調査区全景

図版33 (1) S K86・S D 7 (2) 2区北壁土層

※表紙写真 第85次発掘調査区空中写真遠景 (掛之上遺跡が段丘上に立地していることが分かる。手前の道路が東端の段丘崖線である。遠くに磐田原台地を望むことができる。東より)

写真図版



(1) 第83次発掘調査区空中写真全景

(弥生時代後期の土坑、奈良時代の郡衙正倉を区画する溝、中・近世の屋敷地の区画溝が見られる。南より)



(2) 第85次発掘調査区空中写真全景

(左側の広い調査区が1区、右側の狭い調査区が2区である。

上の道路が遺跡の立地する段丘の東端にあたる崖線である。西より)



(1) 第85次－1発掘調査区空中写真全景
(弥生時代中期後葉の方形周溝墓と、中世の掘立柱建物が検出された。南より)



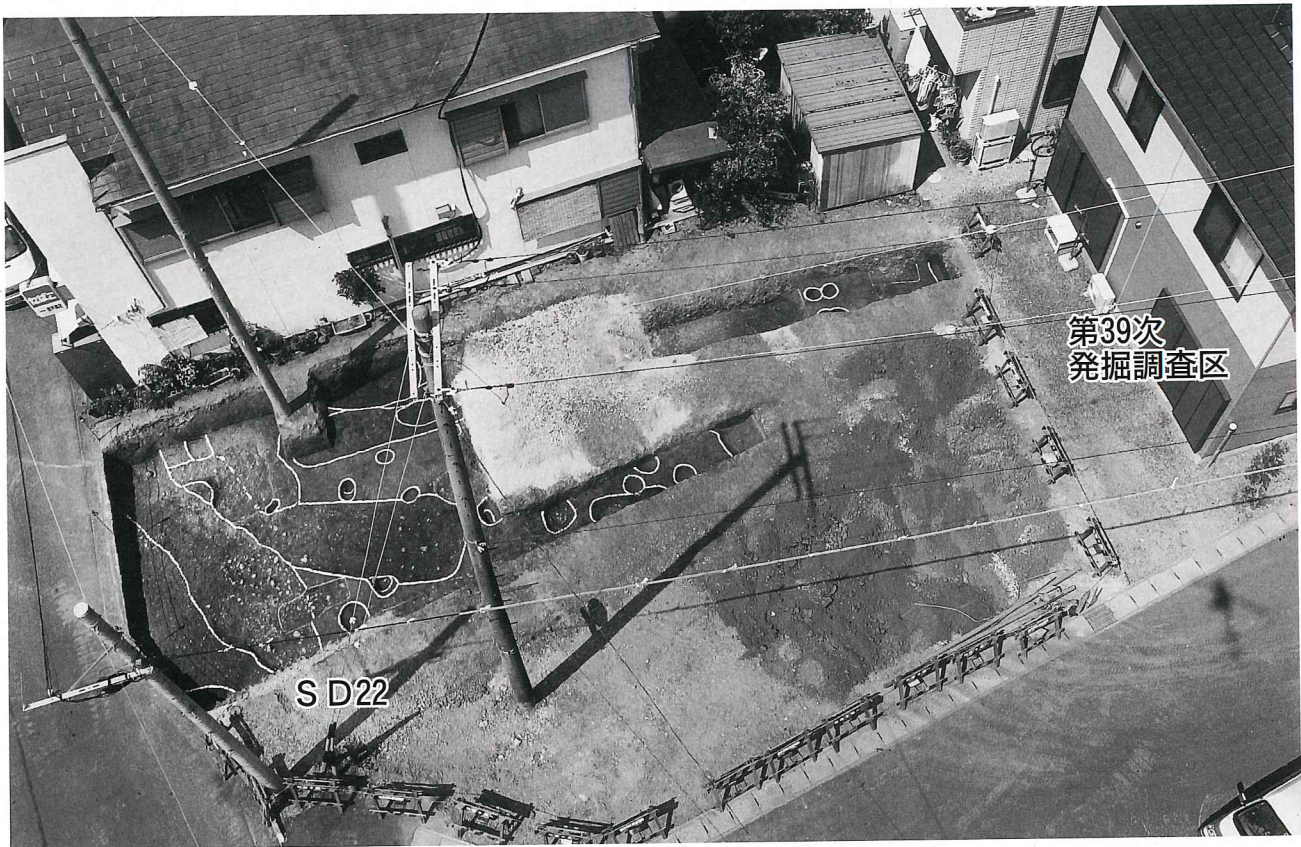
(2) 第85次－2発掘調査区空中写真全景
(弥生時代後期の竪穴住居や土坑、奈良時代の溝などが検出された。東より)



(1) 第83次発掘調査区空中写真全景
 (中央に奈良時代の区画溝があり、土橋の出入口が存在する。
 下端の溝は中・近世の屋敷地の区画溝と思われる。南より)



(2) 第83次発掘調査区空中写真全景
 (溝以外は弥生時代後期の土坑と、弥生時代後期～古墳時代の柱穴が見られるので
 居住域として利用されていたことが判明した。上が東で、真上より)



(1) 第39次発掘調査区空中写真全景
(左側の中・近世の区画溝 (S D22) は、西側の袋井駅方面に延びた谷に接続すると予想されるので、排水用としての用途も考えられる。東より)



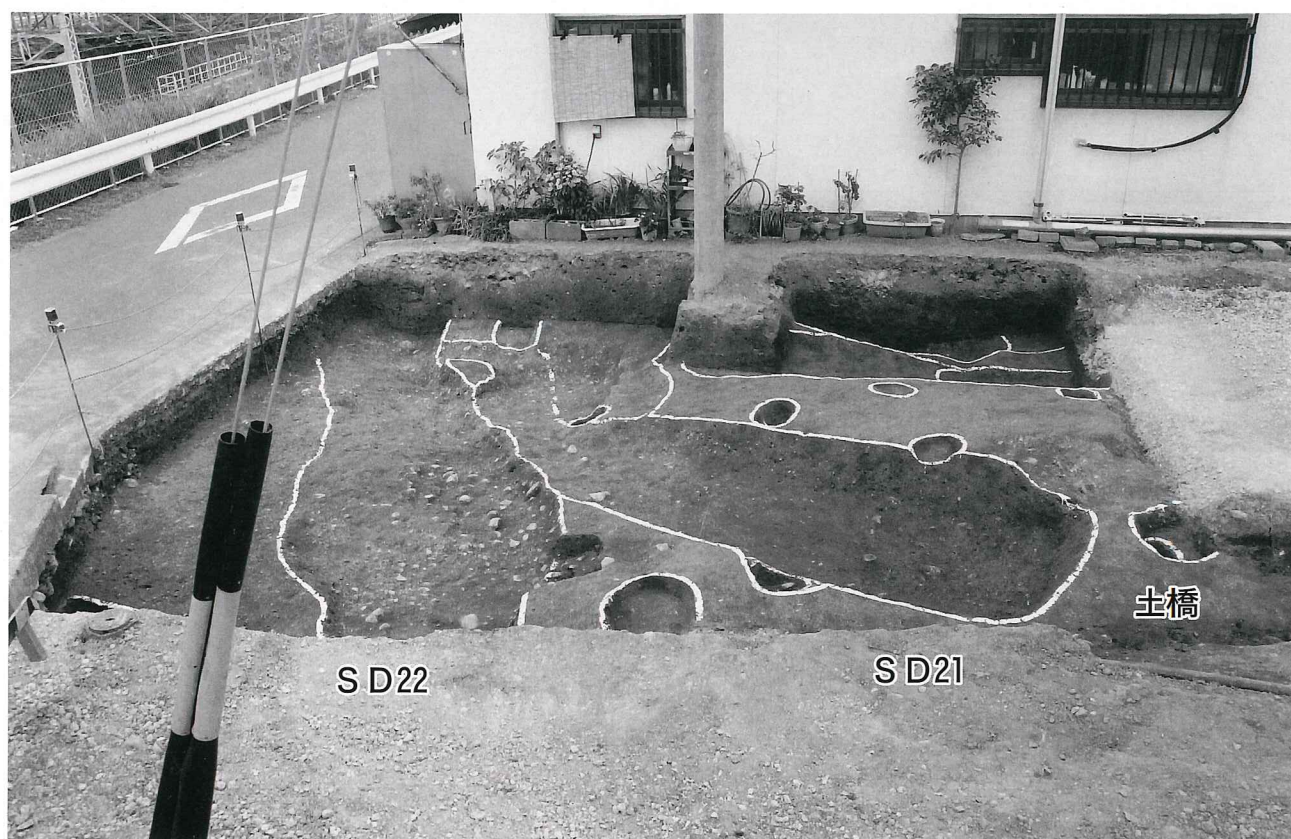
(2) 第83次発掘調査区空中写真全景
(奈良時代の区画溝は郡衙の正倉域を区画するもので、右側が内部となる。位置から見ると、南東隅部分となる。北より)



(1) 第83次発掘調査区全景（南より）



(2) 第83次発掘調査区全景（北東より）



(1) S D21・22 (S D21が奈良時代の区画溝、S D22が中・近世の区画溝である。東より)



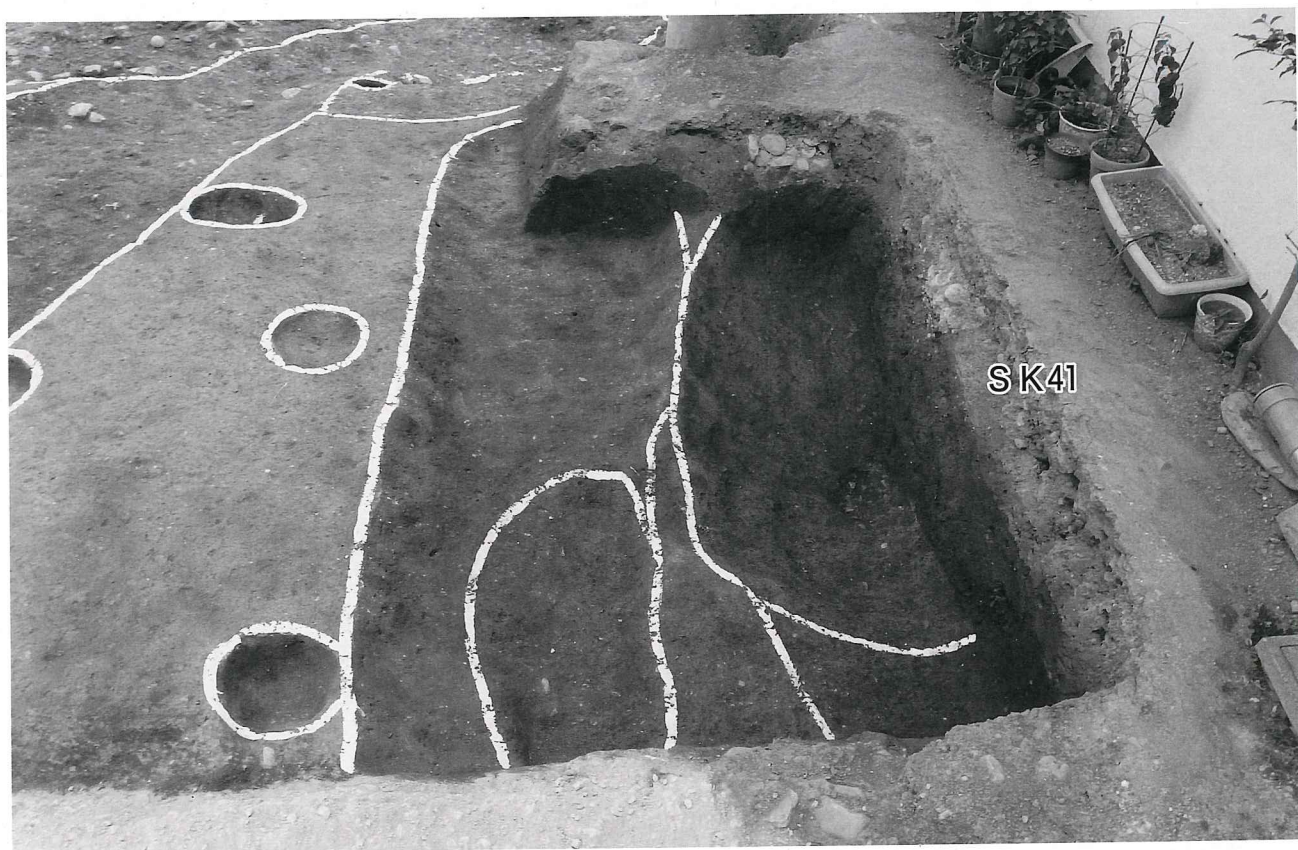
(2) S D21 (手前が土橋となる。北東より)



(1) SD21 (土橋より北側はSD9が第39次発掘調査へと延びている。北より)



(2) 北側トレンチ (攪乱部分が多いが、弥生時代後期～古墳時代の柱穴が見られた。南より)



(1) S K41 (弥生時代後期の大型土坑である。北より)



(2) 南壁土層 (表土のみで、包含層である黒褐色土はない。北より)



(1) 重機による表土掘削作業
(調査区内での包含層は全く存在しなかったため、遺構確認面まで表土を除去した。)



(2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景



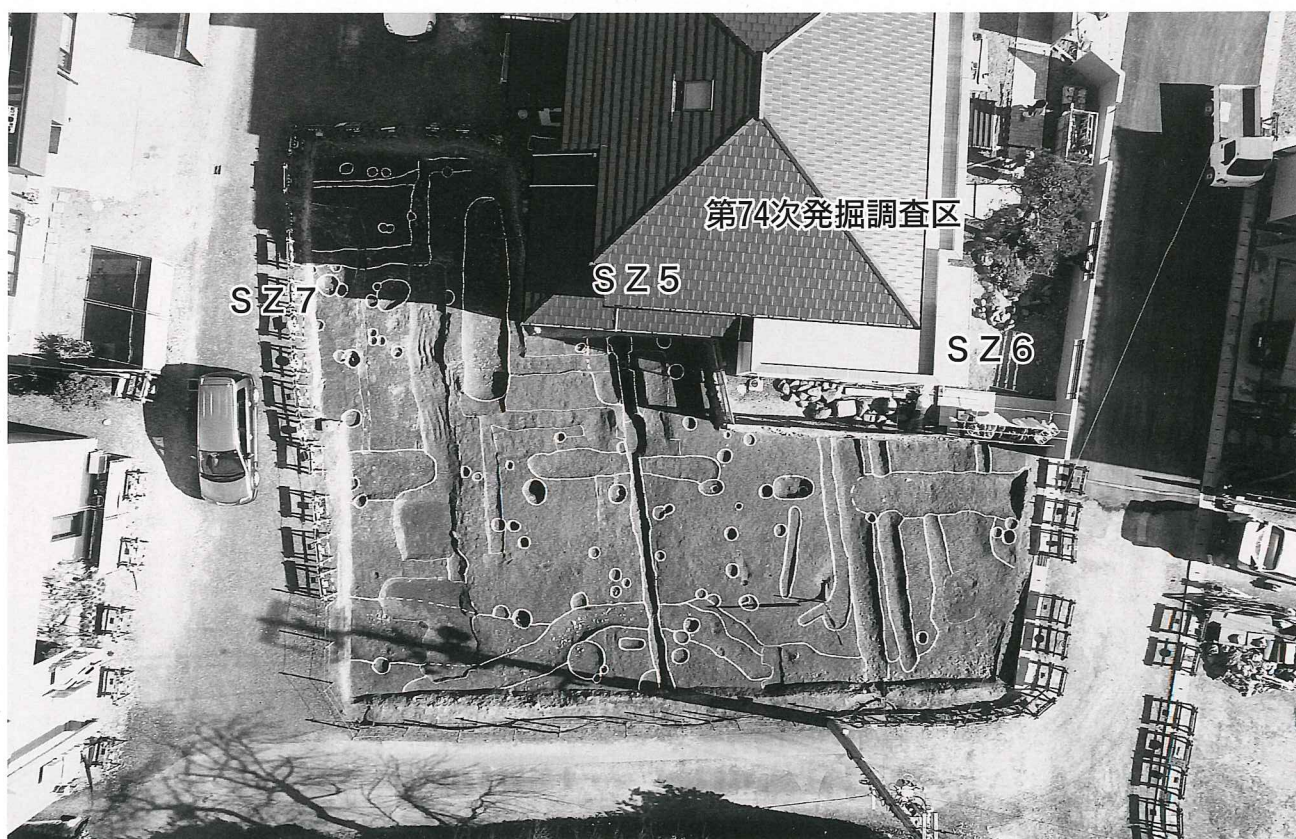
(1) 第85次発掘調査区空中写真遠景
(遺跡の南東隅付近の調査地点である。手前の道路が遺跡の立地する段丘東端の崖線である。東より)



(2) 第85次発掘調査区空中写真全景 (左が1区、右が2区である。西より)



(1) 第85次－1 発掘調査区空中写真全景
(弥生時代中期後葉の方形周溝墓が南北方向に直線に並んで3基が検出された。北より)



(2) 第85次－1 発掘調査区空中写真全景
(3基の方形周溝墓が溝を共有して並んでいる。中世の掘立柱建物も重複して検出されている。
上が東で、真上より)



(1) 第85次－1 発掘調査区全景（遺跡の東端にあたるため遺構の数は減少する傾向が認められた。南より）



(2) 第85次－1 発掘調査区全景（北西より）



(1) S H42(戦国時代の土間造りの掘立柱建物で、2間×2間の規模となる。主軸は東に傾いている。西より)



(2) S H43

(大半は第59次発掘調査区で検出されている。戦国時代の土間造りの掘立柱建物で、2間×3間の規模となる。主軸方向は東西を向く建物である。西より)



(1) SH43 (主軸方向は東西を向く建物である。西より)

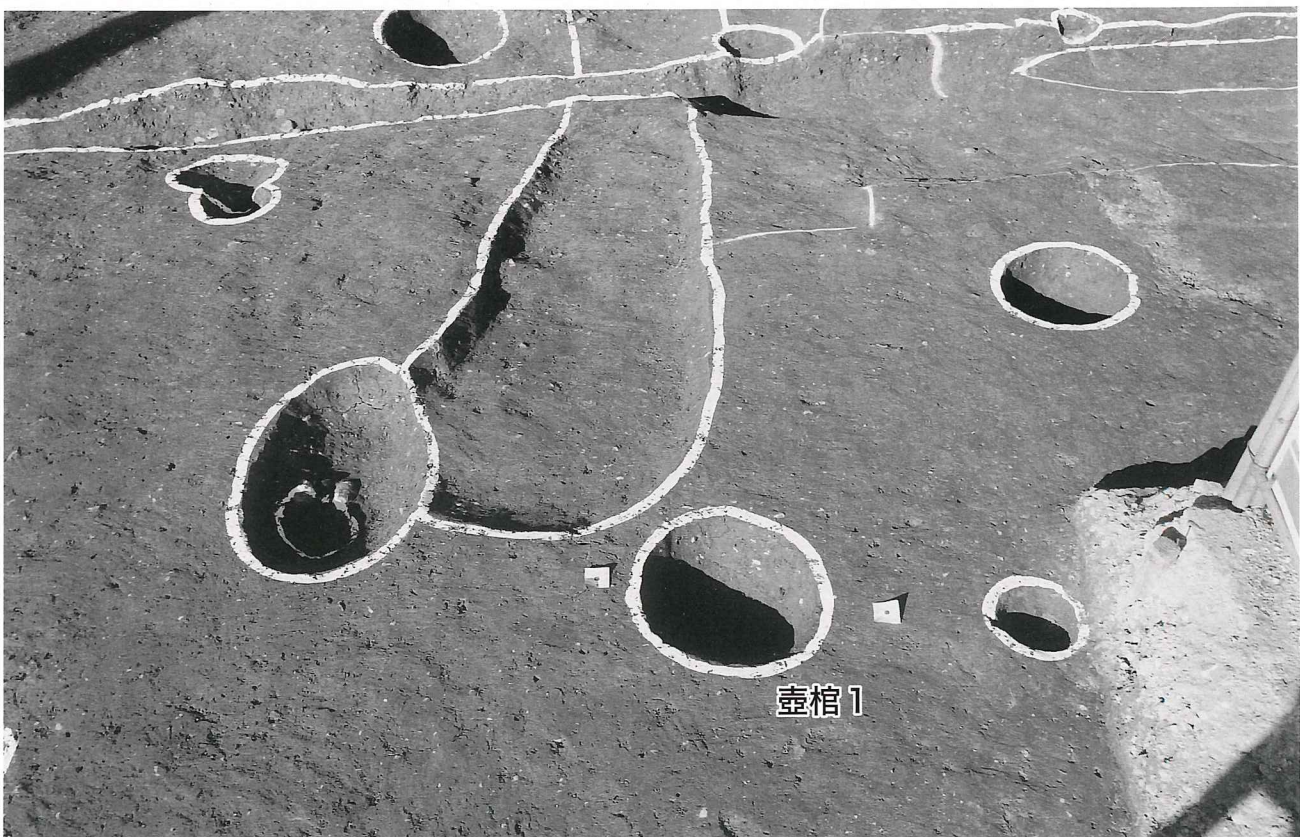


(2) SZ5

(弥生時代中期後葉の四隅に陸橋をもつ形態の方形周溝墓である。
半分は第74次発掘調査区で検出されている。西より)



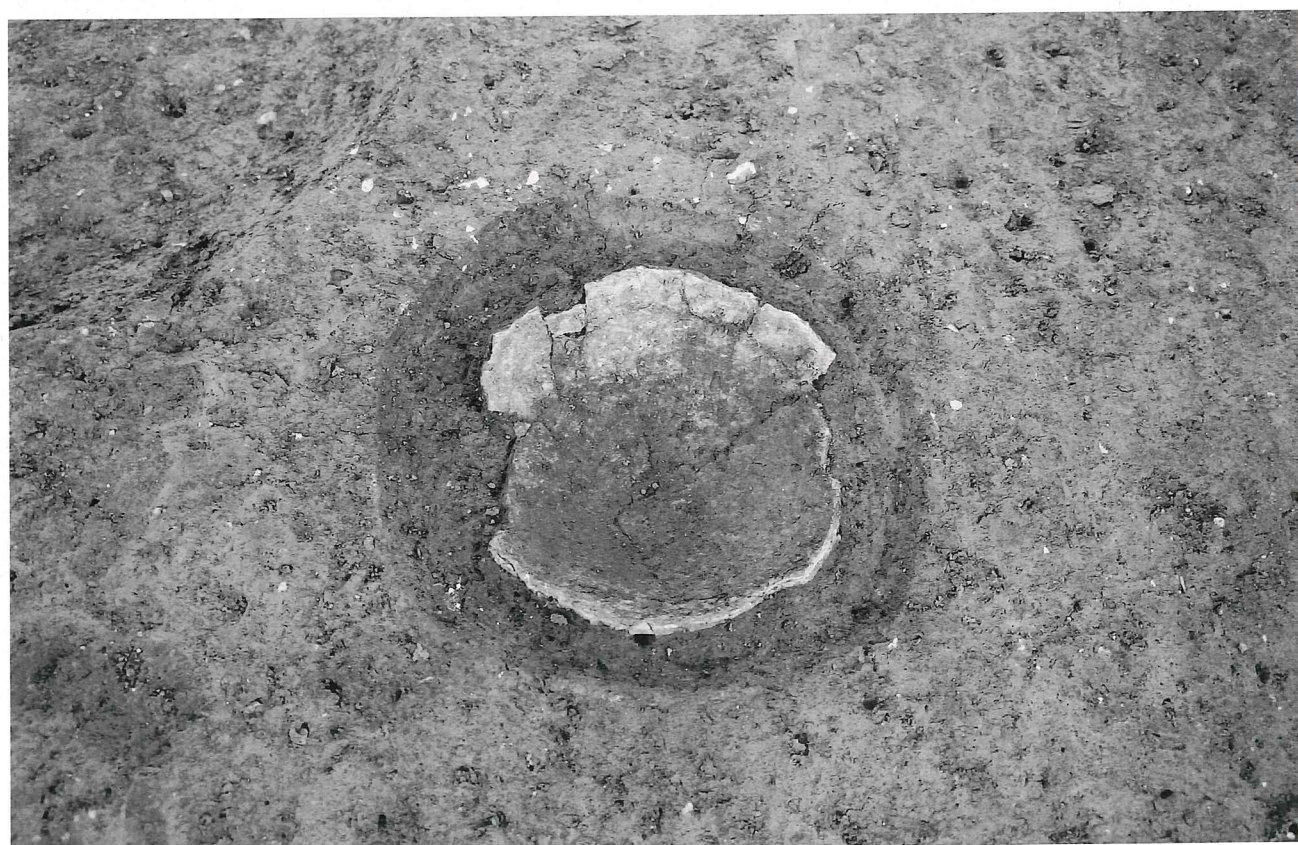
(1) SZ 5 (北より)



(2) SZ 5 南西コーナー (陸橋部分に壺棺1が埋葬されていた。南より)



(1) S Z 5 南西コーナー壺棺 1
(弥生時代中期後葉の壺棺と見られるが、攪乱のため胴部下半しか残っていなかった。南より)



(2) S Z 5 南西コーナー壺棺 1
(縦位埋葬の壺棺であった。内部からは蓋となるような別個体の土器片は出土していない。南より)



(1) S Z 5 北溝土層（墳丘からの流込土は確認されておらず、自然堆積の状況を示している。西より）



(2) 壺棺 2

(弥生時代中期後葉の壺棺で、S Z 5 のやや離れた西側で検出された。S D 68により上半部が壊されていた。内部からは蓋となるような別個体の土器片は出土していない。斜位埋葬であった。南より)



(1) SZ 6

(弥生時代中期後葉の土坑と見られていたが、方形周溝墓の西溝であることが判明した。
大半は第74次発掘調査区で検出されている。南より)



(2) SZ 7

(弥生時代中期後葉の土坑と見られていたが、方形周溝墓の西溝であることが判明した。
大半は第59次発掘調査区で検出されている。南より)



(1) S Z 7 西溝内土器出土状況（底近くから壺の上半分部分が出土した。南より）



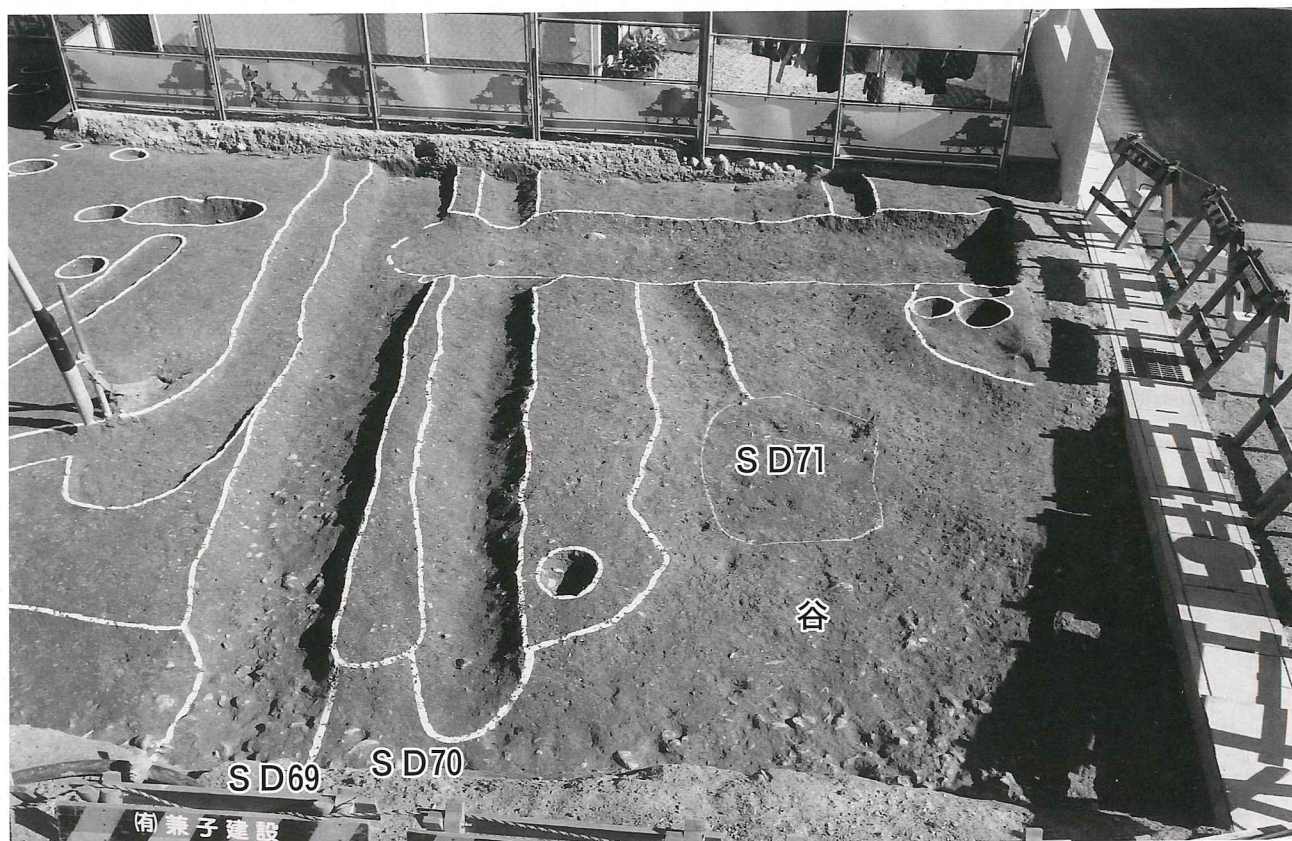
(2) S Z 7 西溝内土器出土状況（壺の口縁部も欠損している。西より）



(1) S Z 7 西溝土層(墳丘(右側)からの流込土は確認されておらず、自然堆積の状況を示している。南より)



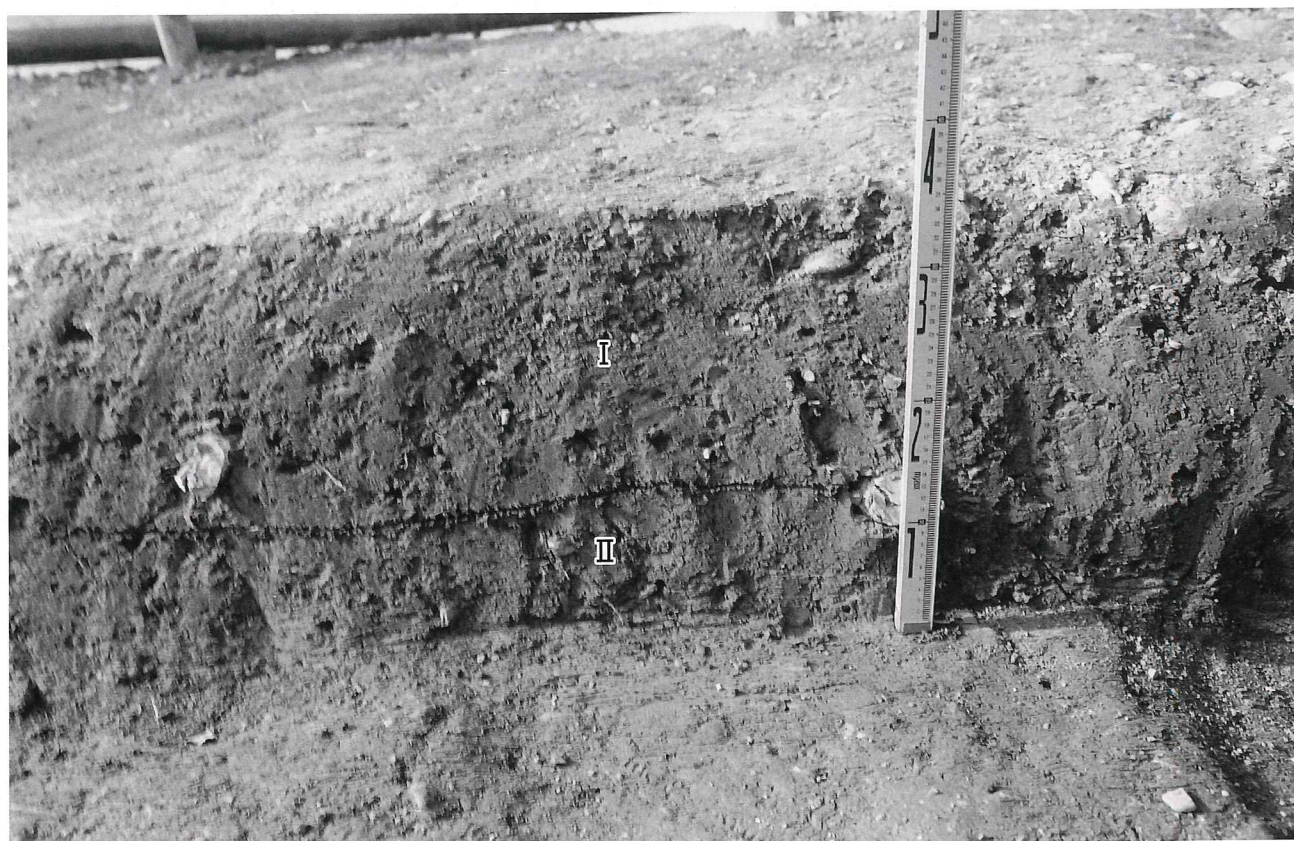
(2) S K 55 (古墳時代後期の溝状の土坑である。南より)



(1) S D69～71、谷
(浅い谷地形部分にあたるため、排水用も兼ねた近世の区画溝が東西方向に検出された。西より)



(2) S D68 (南北方向の近世の区画溝が検出された。蛇行しているため排水の用途も考えられる。南より)



(1) 1区西壁土層（調査区北西端のごく一部に厚さ15cm程度の包含層が残存していた。東より）



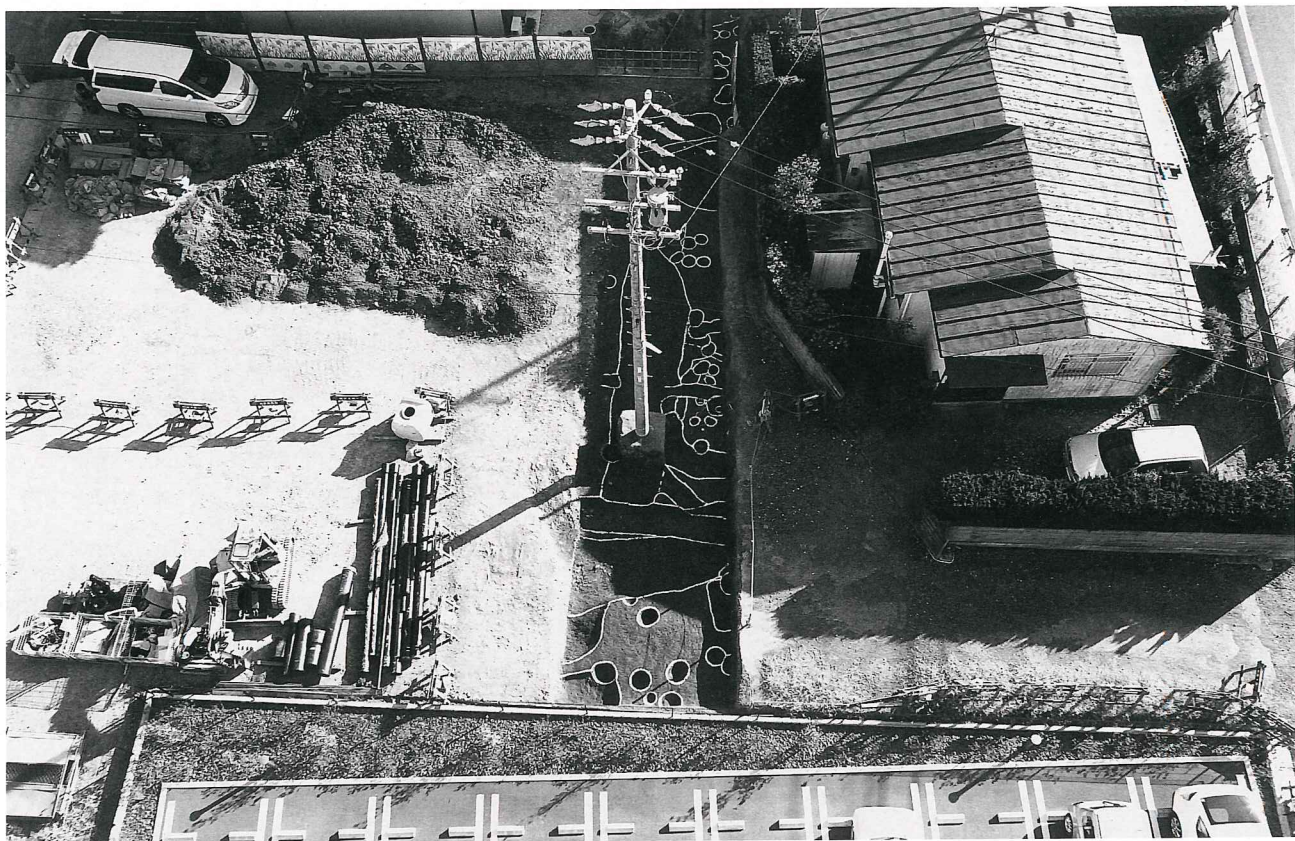
(2) 重機による表土掘削作業
(1区ではほとんど包含層は存在しなかったため、遺構確認面まで表土を除去した。)



(1) 人力による作業風景（1区での遺構の清掃作業を行っている。）



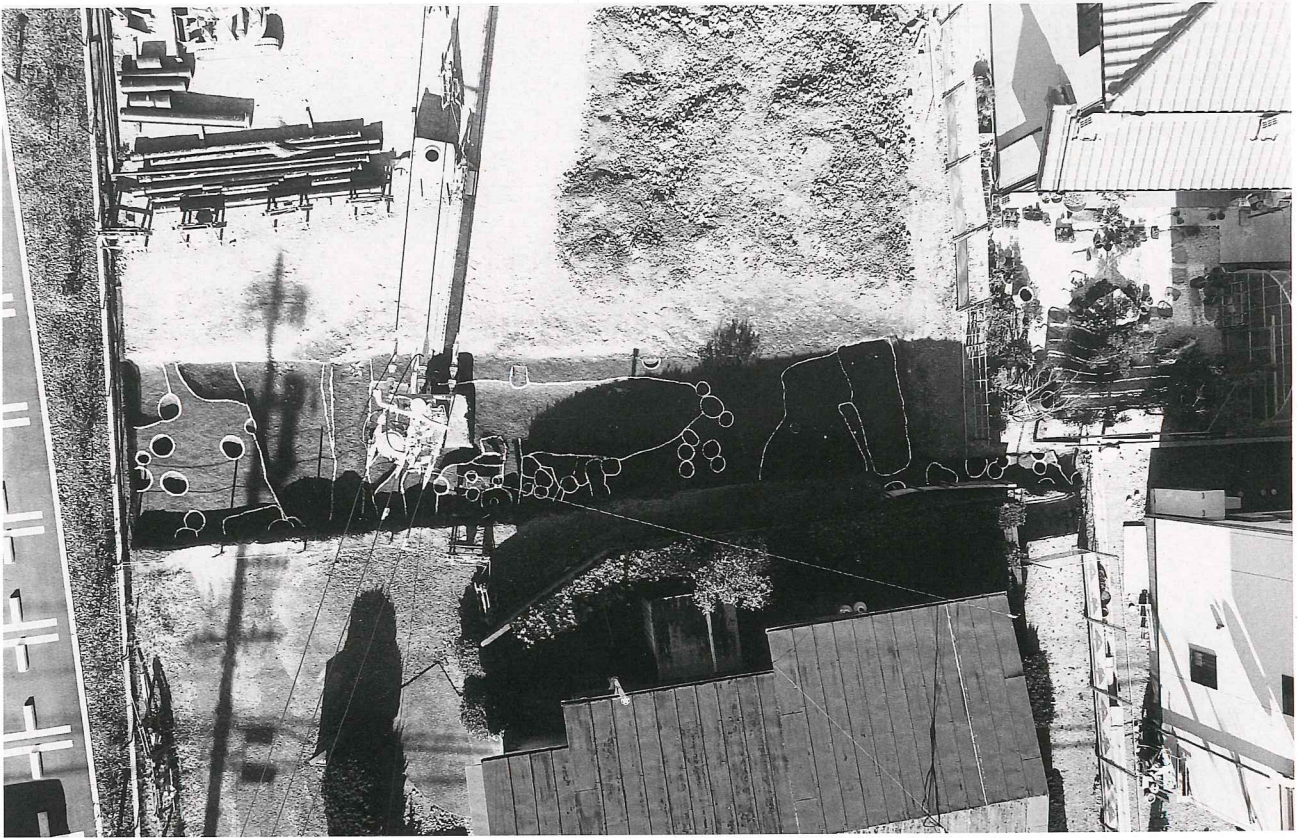
(2) ラジコンヘリによる写真撮影・測量作業風景



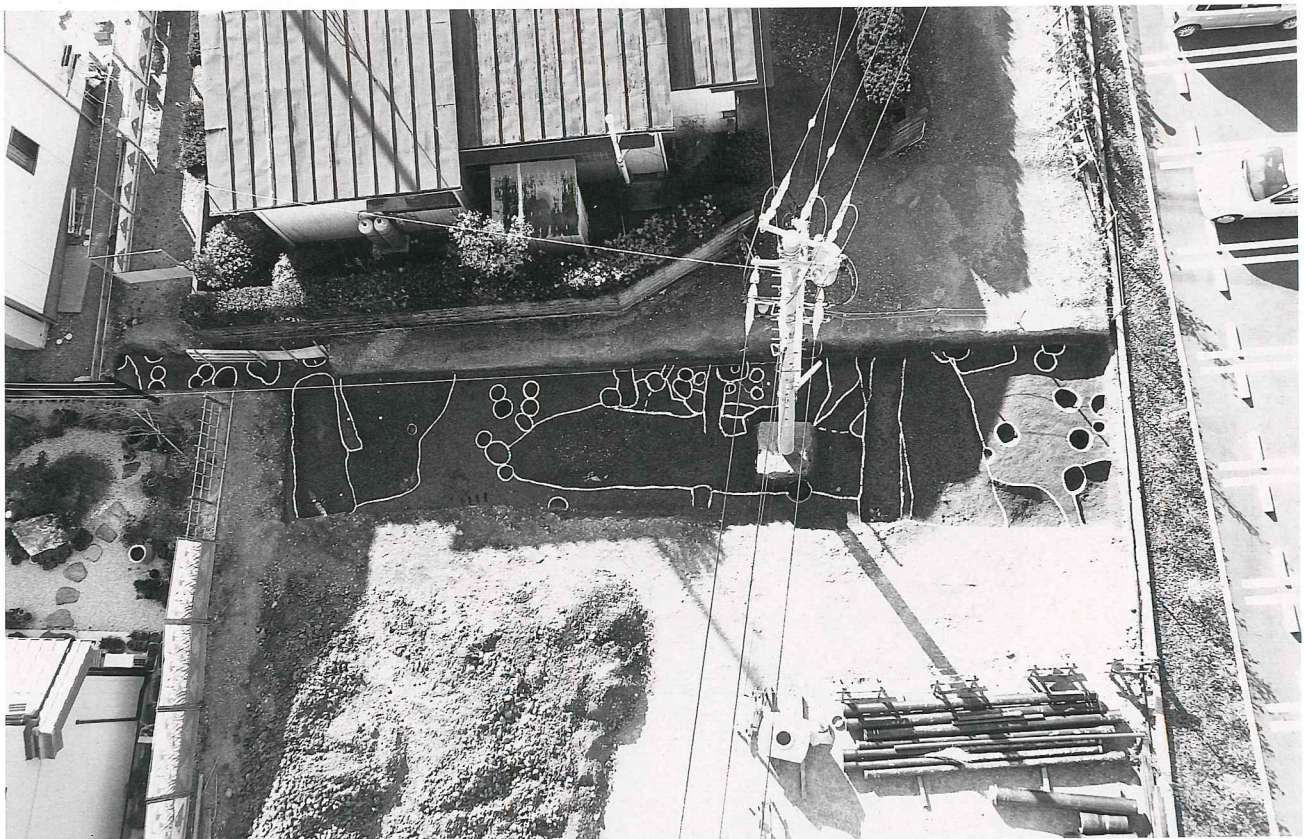
(1) 第85次－2発掘調査区空中写真全景
(弥生時代中～後期の竪穴住居や土坑、方形周溝墓と見られる溝などが検出された。西より)



(2) 第85次－2発掘調査区空中写真全景
(遺構の数は多く、弥生時代中～後期の居住域であることが判明した。西より)



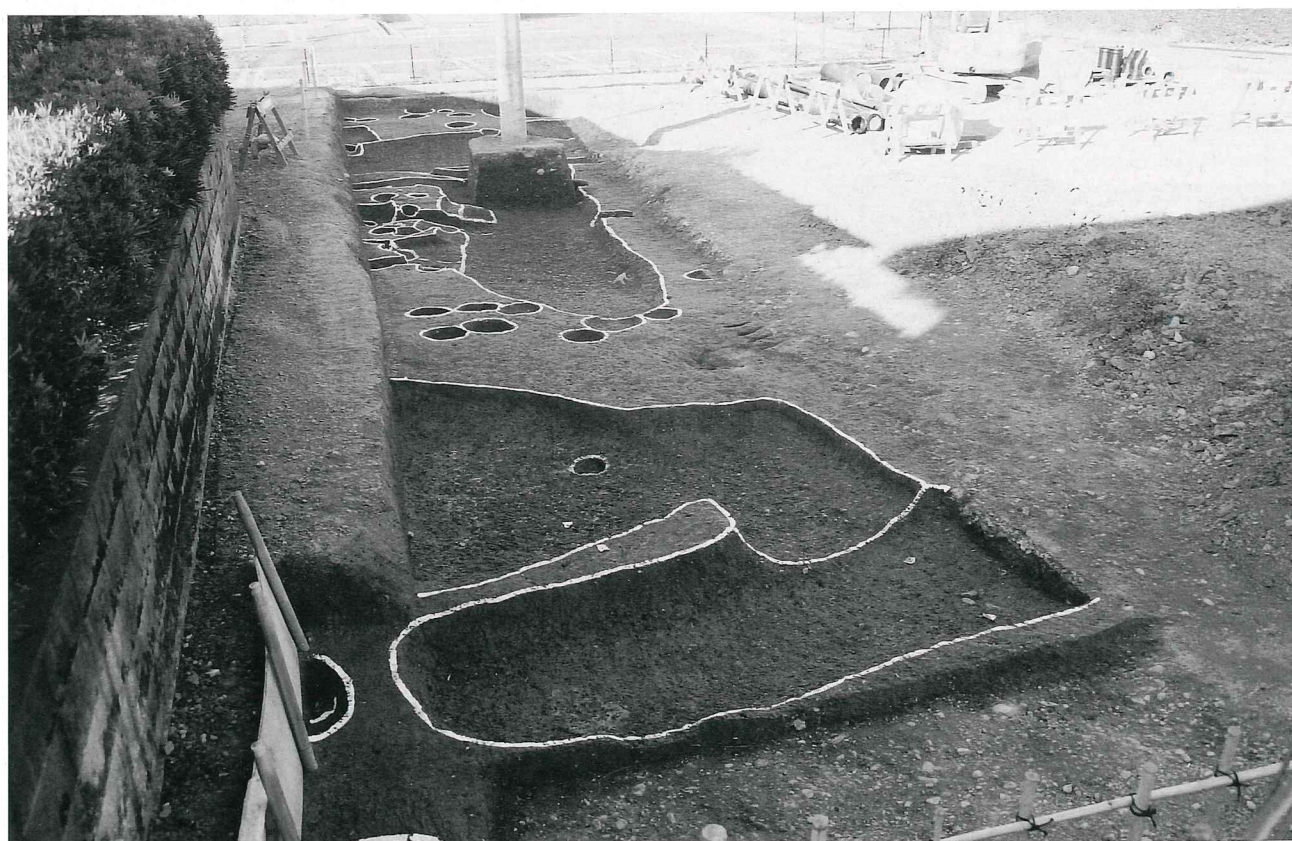
(1) 第85-2次発掘調査区空中写真全景（上が北で、真上より）



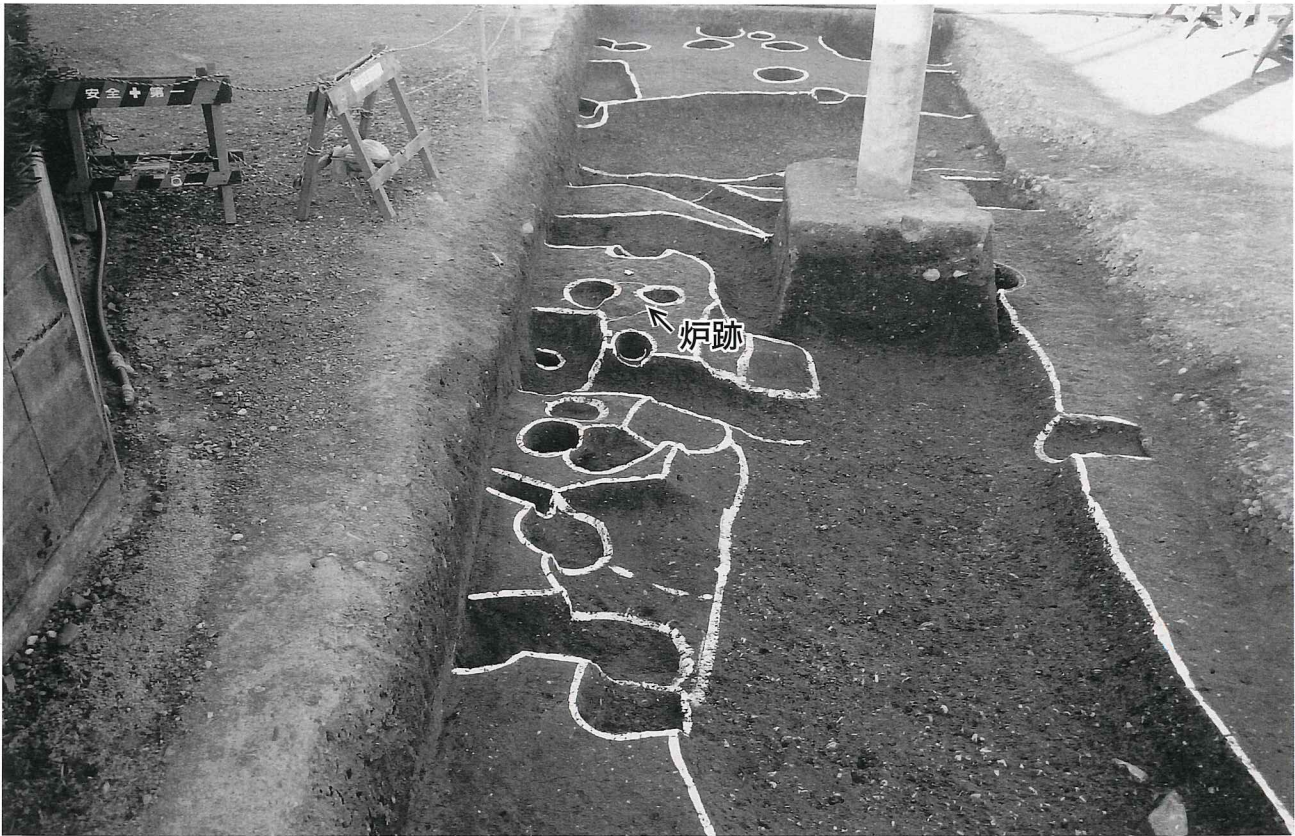
(2) 第85次-2発掘調査区空中写真全景（北より）



(1) 第85次－2発掘調査区全景（西より）



(2) 第85次－2発掘調査区全景（東より）

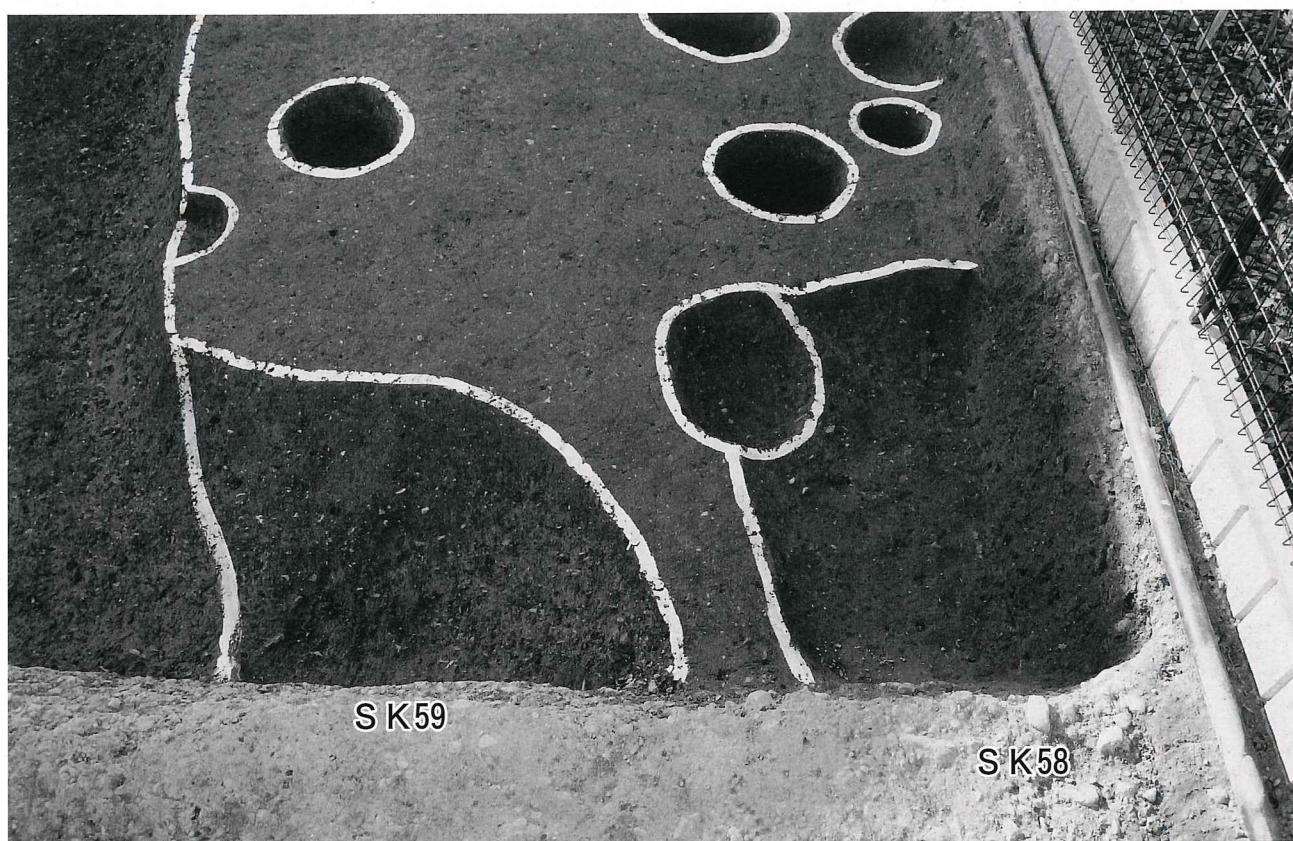


(1) S B21

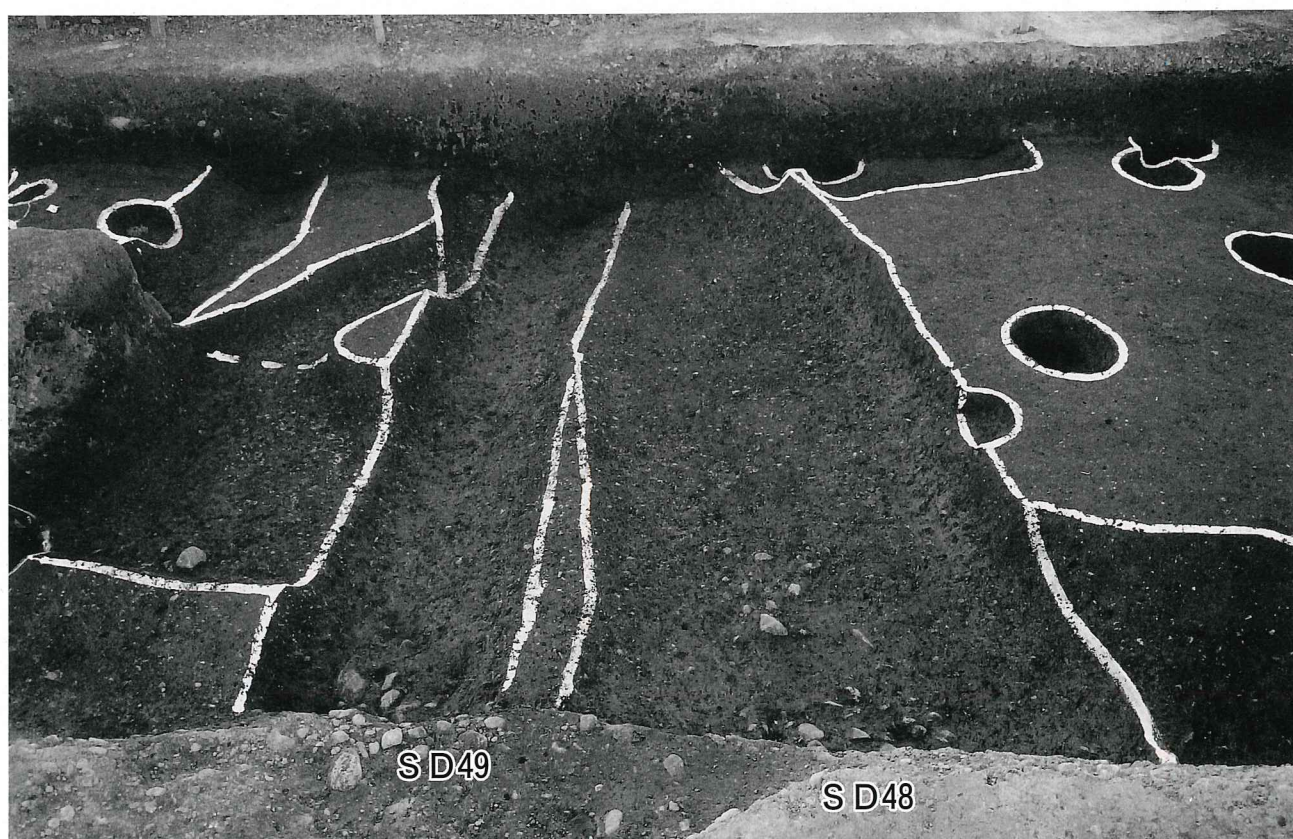
(弥生時代後期の竪穴住居であるが、残存状況は良くないため、平面プランはよく分からない。
地床炉が伴う。東より)



(2) S B21炉跡 (地床炉であるが、柱穴と切り合い残存状態は良くない。北より)

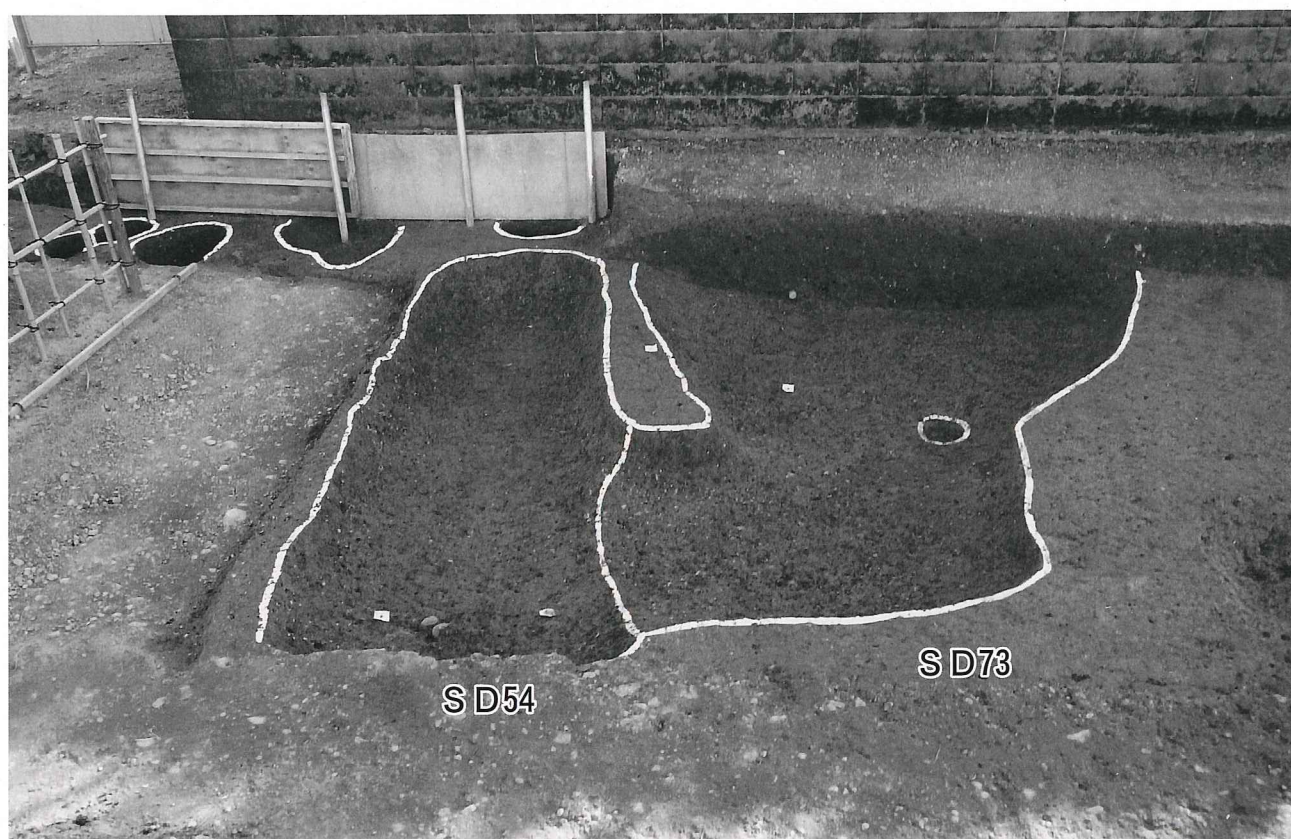


(1) S K58・59 (弥生時代後期の土坑が並んで検出された。北より)



(2) S D48・49

(S D48からは弥生時代後期の土器が出土している。
S D49では戦国時代の陶磁器・土器が出土している。北より)



(1) S D54・73

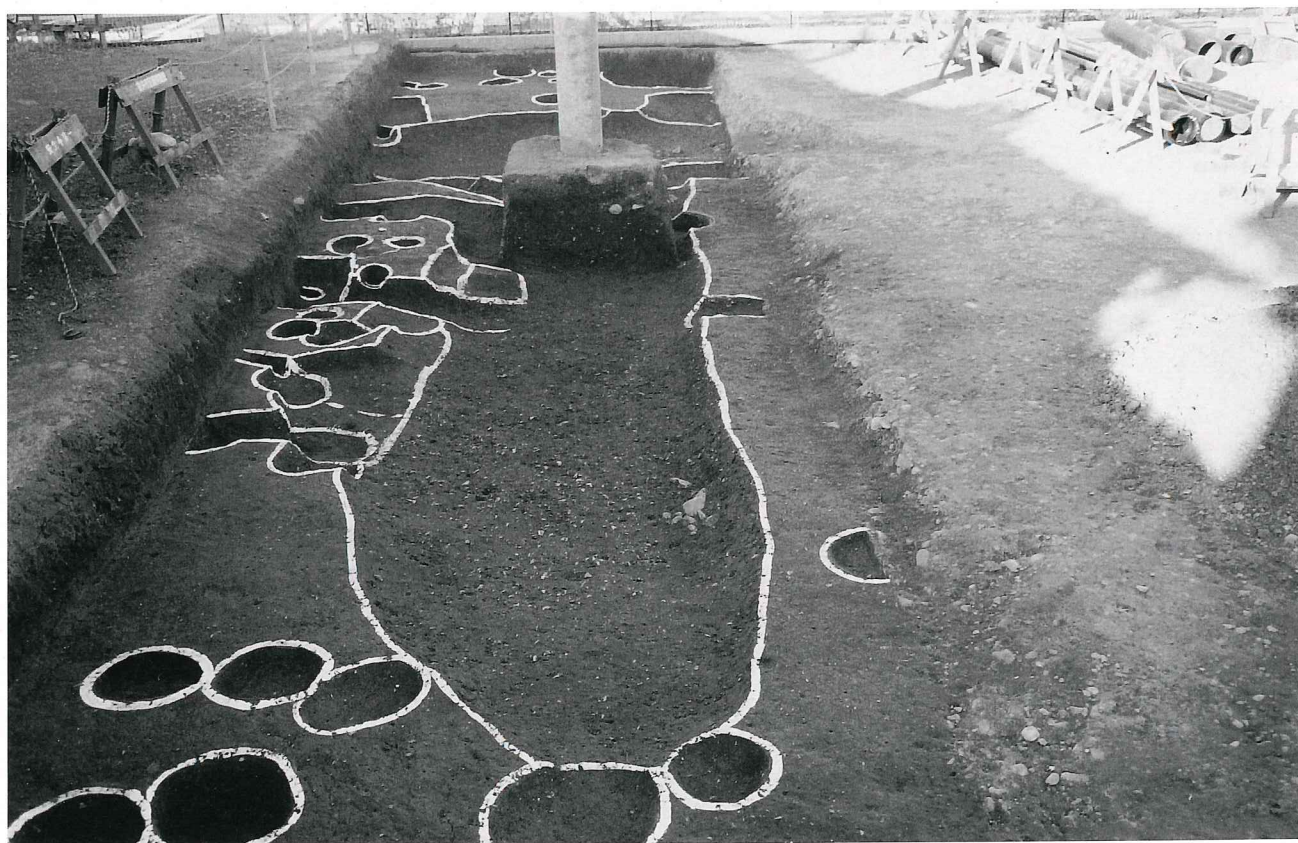
(S D54からは弥生時代中期後葉の壺が出土している。S D73では白鳳期の瓦が出土している。北より)



(2) S D54土器出土状況 (弥生時代中期後葉の壺の破片が出土した。南より)



(1) S D73瓦出土状況（白鳳期の平瓦が出土した。南より）



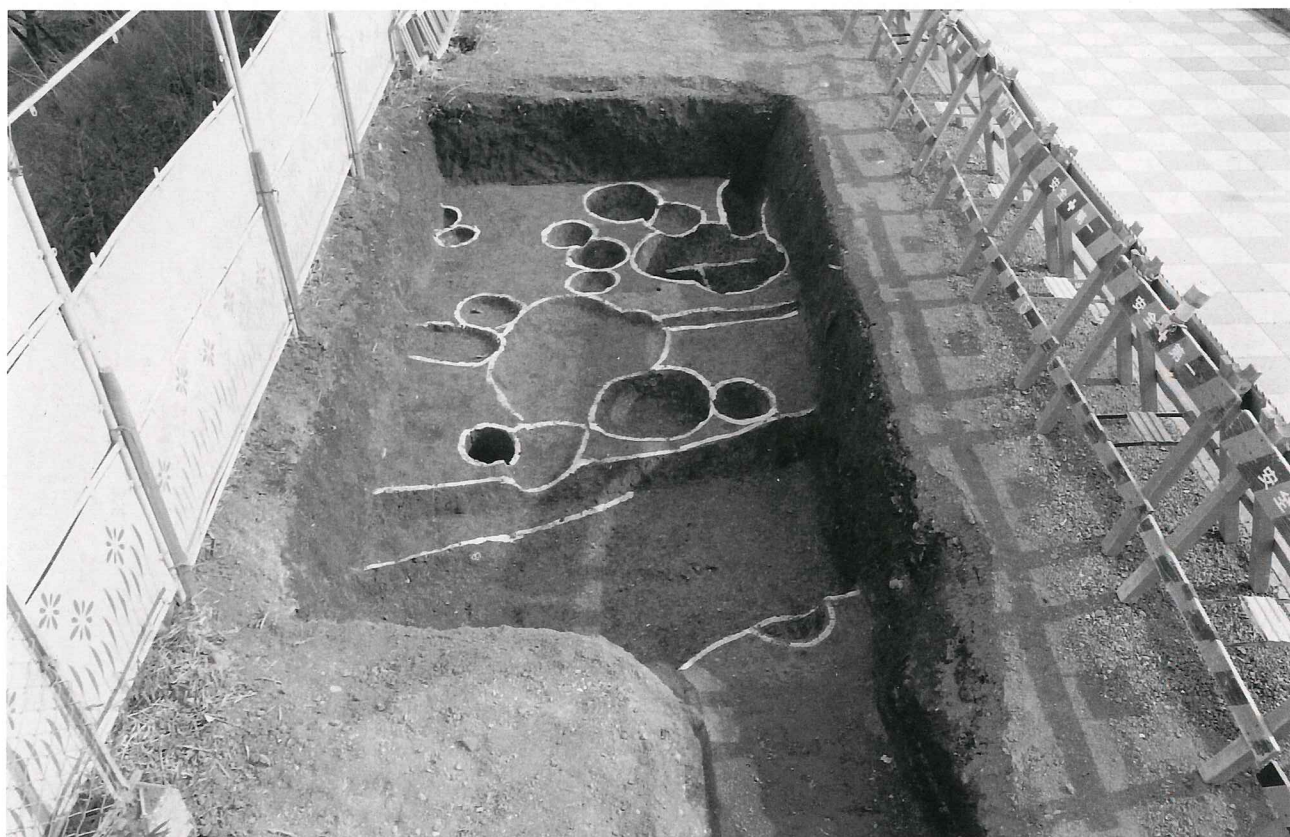
(2) S D72（弥生時代後期の土器が出土した。方形周溝墓の溝にも見える。東より）



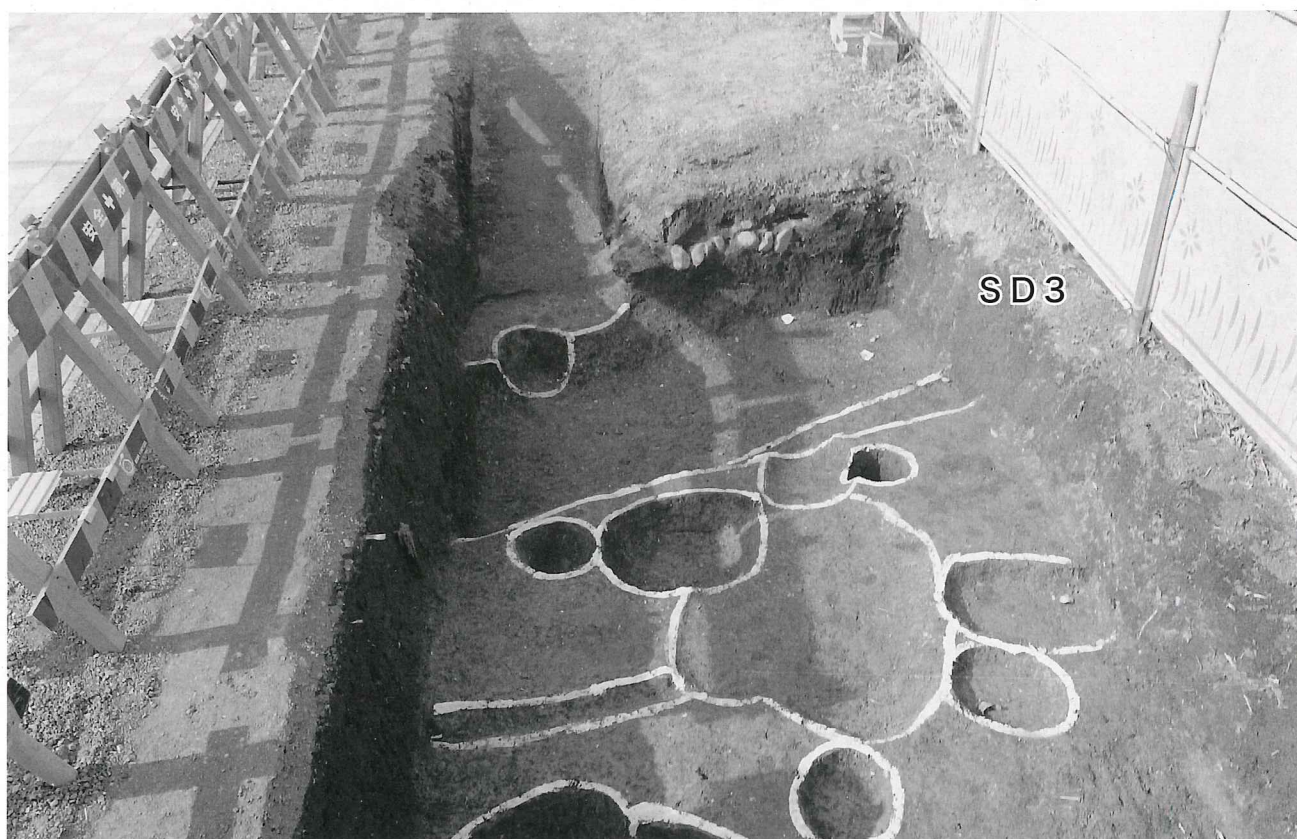
(1) 2区南壁土層 (厚さ30cm程度の良好な包含層が見られた。北より)



(2) 人力による作業風景 (2区での遺構の掘削作業をしている。)



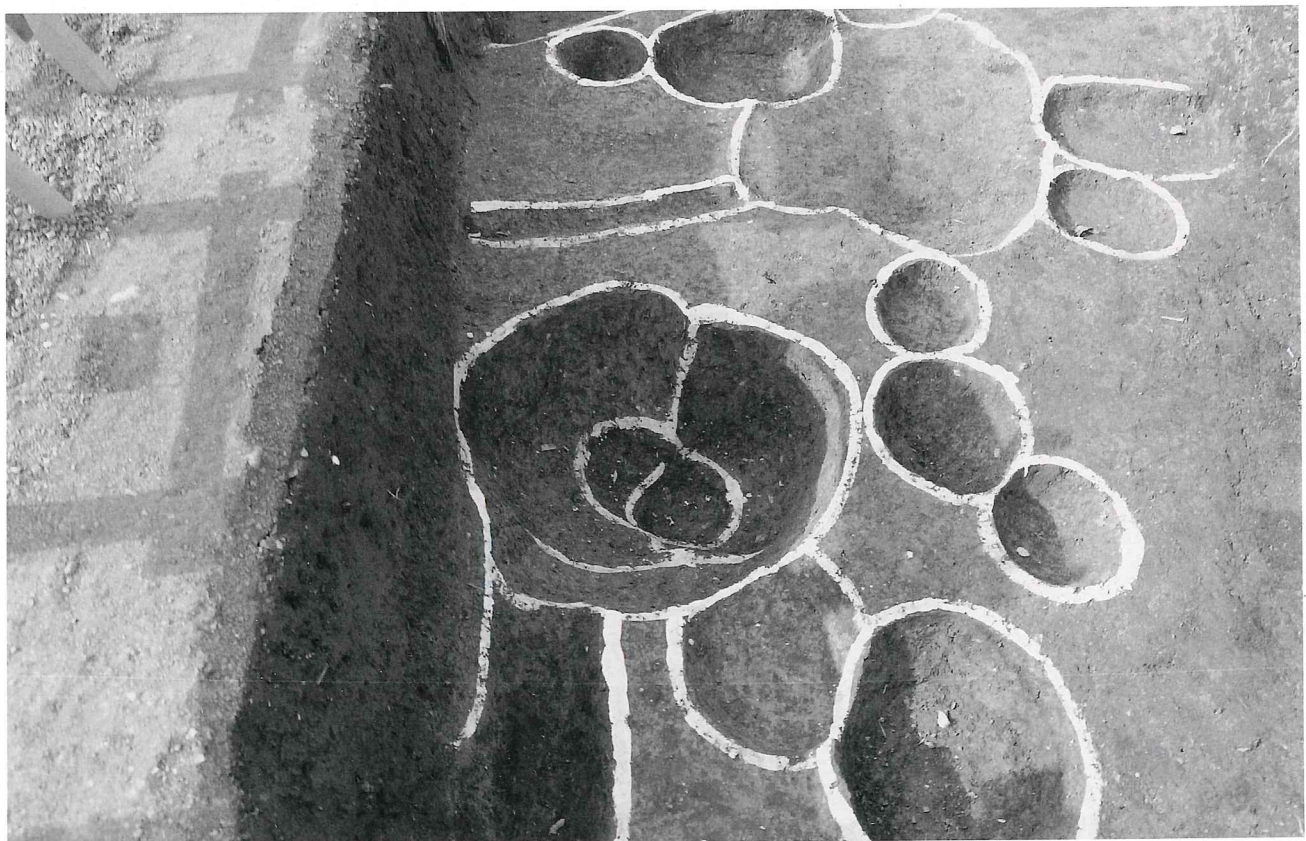
(1) 第86次－1発掘調査区全景（古墳時代初頭の溝や柱穴が多数検出された。西より）



(2) SD 3（古墳時代前期と江戸時代末期の溝が重複している。東より）



(1) SD3土器出土状況（古墳時代初頭の壺が底よりやや浮いて出土した。南東より）



(2) 柱穴群（様々の大きさの多数の柱穴が検出されたが、調査区が狭いため組合せは不明である。東より）



(1) 1区南壁土層（厚さ15cm程度の包含層が見られたが、表土の方がかなり厚かった。北より）

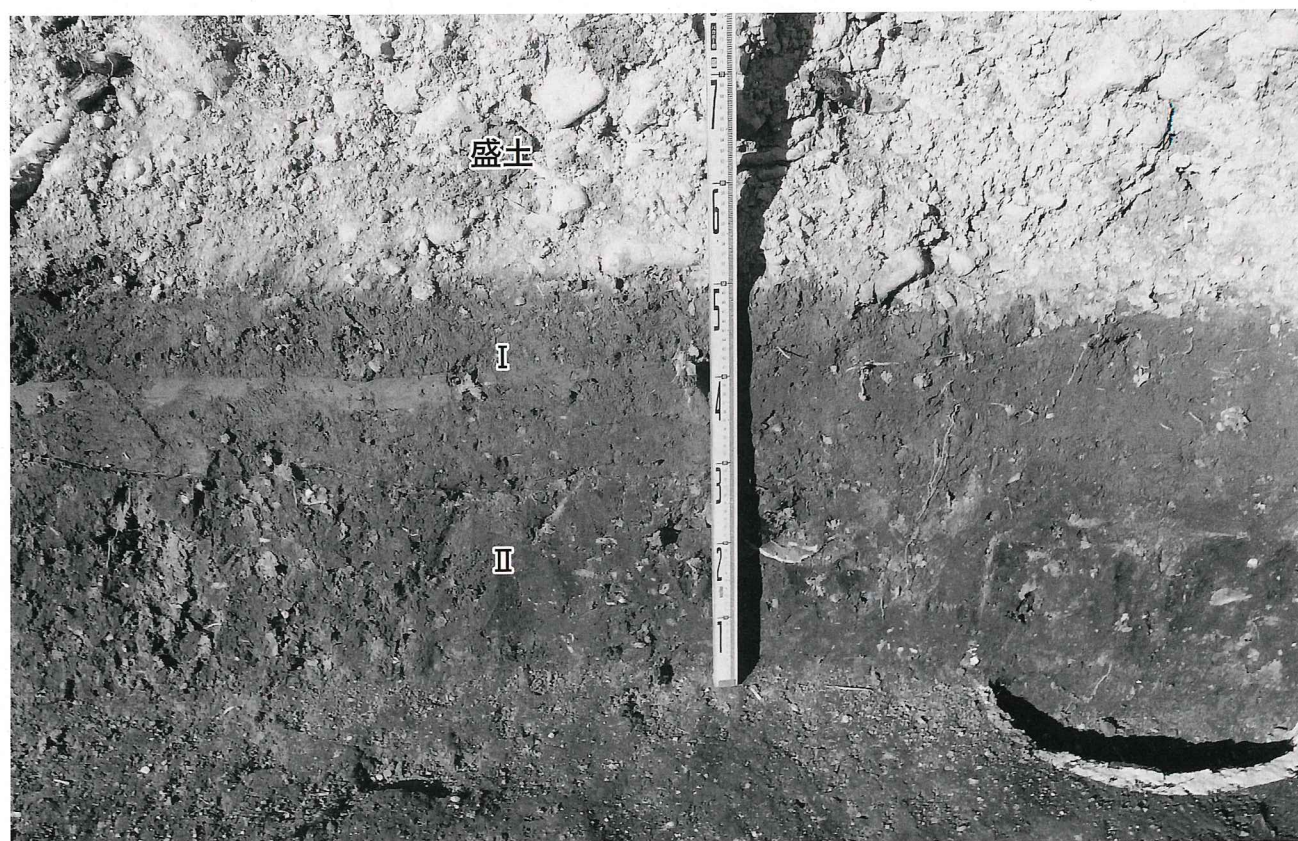


(2) 第86次－2発掘調査区全景
（古墳時代後期の竪穴住居の一部や戦国時代の区画溝が検出された。西より）



(1) SK86・SD7

(SK86は弥生時代後期の楕円形の土坑である。SD7は戦国時代の屋敷地の区画溝である。東より)



(2) 2区北壁土層 (厚さ30cm程度の良好な包含層が見られた。南より)

報告書抄録

フリガナ		カケノウエイセキ シヤシンズハンヘン				
書名		掛之上遺跡83・85・86 写真図版編				
副書名		袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書27				
編集著者名		松井一明				
編集機関名		袋井市教育委員会				
所在地		〒437-1192 静岡県袋井市浅名1028 電話0538-23-9269				
発行年月日		2010年3月26日				
フリガナ 所収遺跡名		カケノウエイセキ 掛之上遺跡				
フリガナ 所在地		シズオカケンフクロイシタカオカケノウエ 静岡県袋井市高尾掛之上				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 44' 24"	137° 55' 53"	20090821	406.5㎡	袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う宅地造成
22216	151			～ 20100325		
所収遺跡名		種別	時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
掛之上遺跡		集落跡	弥生時代 中・後期 奈良時代 鎌倉～戦国 近世	竪穴住居 掘立柱建物 土坑 方形周溝墓 区画溝 掘立柱建物 土坑 区画溝	土器・石器 須恵器 山茶碗・陶磁器 陶磁器・かわらけ	弥生時代 中～後期 有力集落 郡衙推定 遺跡

袋井市駅前第二地区土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書27

掛之上遺跡 83・85・86

— 写真図版編 —

発行年月日 2010年3月26日

編集・発行 袋井市教育委員会

袋井市役所都市建設部区画整理課

〒437-8666 静岡県袋井市新屋1-1-1

印刷 松本印刷株式会社

〒437-0013 静岡県袋井市新屋4丁目5-2